

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3・4	在宅介護支援センター・地域包括支援センターと十分に地域密着型サービス事業所として連携できていると言えない現状である。地域の認知症の方々やその家族に対して支援センターと共に地域の方も含め地域支援の推進的な役割をもたなければならない。	在宅介護支援センター・地域包括支援センターとの連携を深め、認知症の方やその家族の話を聞かせていただいたり、認知症ケアの相談を受けたり出来るような地域の認知症サロンの役割を持てるようになる。	在宅介護支援センター・地域包括支援センターとの連携を深め、地域における課題を共有できるような関係を築き、施設が出来ることを提案し認知症の人にやさしい地域づくりを推進する役割をもつ。	6ヶ月
2	6	居室出入り口が解る1階入居者でベランダ側掃き出し窓の開錠を行い自由に出入りしている方も玄関から出入りすると帰宅困難であり難しいが、防犯上からとはいえ玄関施錠が拘束であることは職員は充分承知している。入居者の意向に応じて玄関は開錠しているが入居者の行動などから一定の時間だけでも開錠しておくことが出来ないか。不意のお出掛けに対応できることはないだろうか。	玄関の開錠時間を作る。	一人で出かけたいたい気持ちを行動や話から汲みとりながら、玄関先の見守りが可能な日中に30分程度から開錠を行う。	12ヶ月
3	5	運営推進会議は、入居者及び入居者の家族、地域住民の代表者、市町村の職員または地域包括支援センターの職員、グループホーム等について知見を有する者などで構成することは承知しているが、現況の構成員の意見に甘んじることなく、様々な方に参加していただくことでより透明性を図り、施設のサービス内容の見直し等向上が出来るのではないかと。	施設の透明性とより良いサービスを提供するため運営推進会議に地域包括支援センター職員も構成員になっていただき、施設の取り組みを直に聞いて、意見を伺える会議としたい。	運営推進会議への市町村の職員または地域包括支援センターの職員出席依頼に関しては、当施設だけでなく、市内の他グループホームも出席を希望している。グループホーム・小規模多機能部会を通して今後も働きかけを行っていきたい。	18ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。